

天皇家の御系図と川島家の御系図

川島家の御系図

池上武輔 — 池上四郎(四男) ↓ (福島県会津藩生まれ。会津戊辰戦後、明治三年青森県(斗南藩)に移住、明治十年まで在青。)

池上紀子(六女) (いとこ、と読む)

小菅智淵 — 浜

川嶋辰彦(次男)

川嶋庄右衛門 — 志ま(長女)

川嶋孝彦(長男)

松浦平吉 — 川嶋庄一郎(川嶋家に婿養子)

川嶋紀子(長女)(文仁親王妃)

杉本 吉太郎 — 杉本嘉助

和代(長女)

服部俊太郎 — 栄子

天皇家の御系図

初代 神武天皇 …… 第百二十五代今上天皇

黒田清子(旧・紀宮)

文仁親王(第二皇子) (第一二七代)

徳仁親王(第一皇子) (第一二六代)

愛子内親王(第一女子)

正田美智子(天皇妃)

小和田雅子(皇太子妃)

注意 1 皇位継承は、宮内庁ホームページ「3 皇位継承」による。 2 天皇家の御系図は、宮内庁ホームページの「文仁親王同妃阿殿下」、『日本史総合年表』(加藤友康外著、吉川弘文館)等による。 3 川嶋家の御系図は、『会津・斗南藩士、葛西富夫、東洋書院』、『大阪人物辞典』(三善貞司、清文堂)等による。前著の巻頭言で、北村正哉元県知事は、「紀子妃殿下は明治3年6月、当時12歳の少年で家族と共に三戸郡五戸通の八幡村(現在の八戸市八幡)に移転し、のちに大阪市長や朝鮮総督府政務總監を務めた会津人池上四郎の曾孫に当たられる。」と書いている。後著に「池上四郎は、明治10年、東京に出て巡査に採用される。」とある。